



川崎市立麻生中学校



学校紹介

本校は、学校教育目標の「自主自律」のもと、生徒一人一人が、日々の学習や学校行事、部活動などに積極的に取り組んでいます。食育に関しては、学校生活のさまざまな活動の中で、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付けることをめざしています。

ひだまり防災イベント

8月29日に、地域教育会議と麻生消防署、山口台自治会、マイシティ新ゆり町内会の主催で「ひだまり防災イベント」が行われ、1年生が参加しました。

このイベントは、これまでの防災学習をもとに、実際に地域の方と一緒に防災について学習し、災害に備えるために行われます。昼食には、避難所で配布される「アルファ米のわかめごはん」と「ボイルソーセージ」をいただきました。準備は、地域の方の指導のもと生徒が自ら炊き出しを行い、蒸らしたごはんを容器に入れ、生徒に配付しました。

生徒の感想では「災害の時に、すぐ作れると思っていたけど、そう簡単にはいかないと改めて実感しました。災害では、限られた量をみんなでわけないといけないから、事前に自分や家族の分を備えておくようにしたいです。」とありました。今後も麻生中の防災学習が続きます。生徒のなかには、どのようなものが非常食として有効なのか調べていきたいと言っていた人いました。今後の学習が楽しみです。



野菜の栽培

特別支援学級では、一昨年度よりカゴメの食育事業「りりこわくわくプログラム」に参加しています。カゴメが独自に開発した凜々子という品種のトマトを栽培収穫しました。

昨年度は芽かきという作業をする苗としない苗を育てて比べ、芽かき作業はしたほうが良いという結論となりました。そこで、今年度は全株芽かきをしてみると、昨年度に比べて、「甘くなった」「味が濃くなった」という感想が聞かれました。



給食

給食委員会では、廊下のホワイトボードに給食の栄養成分表を毎日貼っています。その日の給食に使われている材料や、その材料が体内でどのような役割を果たしているのか一目でわかるよう、食材マグネットを利用しています。みんなが通る廊下に貼ることで、一人一人がバランスよく栄養を摂取する意識づけを心がけています。

また、毎月給食センターから発行されるかわさきそだちの野菜の紹介をもとに原稿を作成し、昼の放送でアナウンスをしています。

「食べる力」の配布を行い、食習慣の見直しを行っています